



Tokyo International Film Festival
CROSSCUT ASIA tie-up event

soundtrip to
southeast Asia
[classics]

2019年 1.30 [水] ▶ 2.2 [土]

会場：アテネ・フランセ文化センター



ラララ♪ 東南アジア

クラシックス

第31回東京国際映画祭「国際交流基金アジアセンター presents CROSSCUT ASIA」では、「ラララ♪ 東南アジア」と題し、東南アジア各国の音楽を扱った新作映画を特集上映しました。その続篇となる本企画では時代を遡り、巨匠による名作や国民的ヒット作を描きました。多彩な音楽に彩られた東南アジア映画をお楽しみください。

上映作品 | 『わが義母』(P・ラムリー、1962) 『ブアンとペーン』(チャード・ソンスイー、1983)

『水かけ祭りの雨』(マウンティンウー、1985) 『少女ルーベ』(リノ・ブロッカ、1987) 『オペラジャワ』(ガリン・ヌグロホ、2006)

ラララ♪東南アジア クラシックス



東京国際映画祭の新たな部門として 2014 年に創設された「CROSSCUT ASIA」では、アジアの国、監督、テーマなどに焦点を当て、アジアの現在（いま）を鋭く切り取った珠玉の映画を特集しています。これまで、「魅惑のタイ」、「熱風！フィリピン」、「カラフル！インドネシア」、「ネクスト！東南アジア」、「ラララ♪東南アジア」をテーマに実施してきました。第3弾以降は、続篇上映企画をアテネ・フランセ文化センターにて開催しています。国際交流基金アジアセンター web サイト | <http://jf.ac.jp/culture/>

わが義母 | IBU MERTUAKU / MY MOTHER-IN-LAW

マレーシア、シンガポール / 1962年 / 117分 / デジタル

監督：P・ラムリー

日本初上映



1950～60年代マレーシアの大スター、P・ラムリーが監督・主演した切ないラブストーリー。ラムリー演じるサクセス奏者のカシムは、義母の反対に遭いながらも、富裕な家に育ったサブリアと結婚し慎ましく暮らしていた。しかし里帰り出産中の妻が亡くなったと義母から伝えられたカシムは、悲しみのあまり視力を失う。死後半世紀近く経つ今も人気が博すP・ラムリーの代表作の一つ。

少女ルーペ | PASAN KO ANG DAIGDIG / WORLD ON MY SHOULDERS

フィリピン / 1987年 / 127分 / 35mm (プリント提供：福岡市総合図書館)

監督：リノ・ブロッカ



フィリピン映画の伝説的監督、リノ・ブロッカによるスター誕生物語。貧しい家庭に生まれ、肩担いで生計を立てていた少女ルーペは、オーディションでの優勝を契機に、ナイトクラブで歌手としてのキャリアをスタートさせる。主演はフィリピン音楽界の大スター、シャロン・クネータ。彼女の美しい歌声を存分に堪能できる、フィリピン歌謡映画の精華。

プアンとペーン | PUEN-PAENG

タイ / 1983年 / 132分 / 35mm (プリント提供：福岡市総合図書館)

監督：チャード・ソンスイー



『傷あと』(1977)によりタイ映画史上初めて国外の映画祭(ナント三大陸映画祭)でグランプリを受賞し、その後も数多くの秀作を生み出したタイ映画の巨匠チャード・ソンスイーによる、熱情と悲恋の物語。1930年代タイの農村を舞台に、美人姉妹のプアンとペーン、孤児として育ったローの三人のあいだで行き交う愛の姿が、伝統的な歌曲・踊り・影絵芝居を交えながら綴られる。

オペラジャワ | OPERA JAWA

インドネシア / 2006年 / 120分 / デジタル

監督：ガリン・ヌグロホ



古典ジャワ演劇を大胆に翻案し、ガムランも舞踏も現代美術も織り交ぜた一大ミュージカル映画。インドネシアの一線で活躍する全ジャンルのアーティストとの協働で制作された。かつてはダンサー、今は陶器商として細々と暮らす夫婦を主役に、壮大な「ラーマヤナ物語」の虚実が交錯する。ヌグロホが多彩なキャリアのなかで一貫して続けてきた映画と音楽の挑戦の、集大成たる作品。

水かけ祭りの雨 | THINGYAN MOE

ミャンマー / 1985年 / 126分 / 35mm

監督：マウンティンウー

日本初上映



ミャンマーの正月に催される伝統的な水かけ祭りを背景に、貧しいピアニストと裕福な家の娘との恋模様を描き出す。マンダレーの地元民の協力のもと大規模なロケーション撮影が行われ、当時の祭りの様子が記録された貴重な作品でもある。本作に登場する数々の楽曲はミャンマーの人々なら誰でも知る有名ナンバー。現在にいたるまで時代を超えて愛される国民的映画である。

上映スケジュール(各回入替制)

1月30日(水)

16:15『プアンとペーン』(132分)

19:00『少女ルーペ』(127分)

1月31日(木)

16:20『水かけ祭りの雨』(126分)

19:00『オペラジャワ』(120分)

2月1日(金)

15:50『少女ルーペ』(127分)

18:30『プアンとペーン』(132分)

2月2日(土)

11:20『水かけ祭りの雨』(126分)

14:00『オペラジャワ』(120分)

16:30『わが義母』(117分)

18:30 シンポジウム(65分予定)

(入場無料・予約不要) (※日英逐次通訳付き)

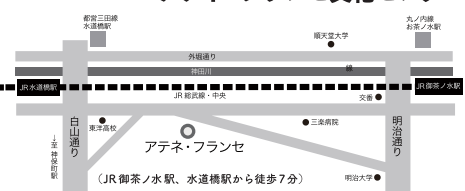
ゲスト＝カレン・チャン

(アジア・フィルム・アーカイヴ
エグゼクティブ・ディレクター)

石坂健治

(東京国際映画祭「アジアの未来」
「CROSSCUT ASIA」部門プログラム
ング・ディレクター)

お問い合わせ・会場 | アテネ・フランセ文化センター



○一般＝1300円 ○学生／シニア＝1100円 ○3回券(一般・学生・シニア共通)＝2700円

○アテネ・フランセ文化センター会員＝800円

■各日、初回上映20分前より会場で1日分のチケットを販売します。■映画をご覧の方には、このイベントのために作られた特別冊子を配布します。■全作品日本語字幕つき。■2月2日(土)のシンポジウムはどなたでもご参加いただけます(入場無料)。

ATHÉNÉE FRANÇAISE
CULTURAL CENTER
アテネ・フランセ文化センター

JAPAN FOUNDATION 国際交流基金